

建築鉄骨構造技術支援協会「鉄骨技術フォーラム2026」

－鉄骨造建築物の構造設計・鉄骨製作等における疑問に答える－

開催の趣旨

今年度のフォーラムもこれまでと同様、角形鋼管柱を用いた中小規模鉄骨造建築物を主な対象として、鋼材、構造設計、鉄骨製作、現場施工等における会員各位の日頃から抱える疑問点に当協会の関係者が回答し、更に意見交換を行う方式を考えております。フォーラムの詳細は以下の通りです。

鉄骨構造物に関心をお持ちの多くの方々の参加を、心よりお待ちしております。

(一社) 建築鉄骨構造技術支援協会 理事長 稲田達夫

記

主 催 (一社) 建築鉄骨構造技術支援協会

後 援 (一社) 東京構造設計事務所協会 (ASDO)

日 時 2026年11月18日 (水) 13:30～17:45 (開場:13:00)

会 場 建築家会館ホール (渋谷区神宮前2-3-16、東京メトロ銀座線 外苑前駅より徒歩8分)

参加費 会員6,000 円、非会員8,000 円 ※ASDO会員、全青会会員は当協会会員として扱います
(WEB配信希望の場合は、会員3,000円、非会員6,000円)

定 員 会場参加 60名程度、WEB配信 60名程度 (いずれも申し込み順とします)

定員になり次第、申し込みを締め切ります。

プログラム

1. 理事長挨拶

2. 鉄骨造建築物の設計・鉄骨製作等における疑問に答える。

コーディネータ: 岡部純

回答者: 伊藤優、稲田達夫、犬伏 昭、千田光、護雅典、横山幸夫質

問例を以下に示します。9月30日まで質問を受け付けます。

- ① めっき物件の仕口フランジ端部溶接部廻し溶接
- ② 建方時のボルトについて
- ③ スカラップ加工について
- ④ 加工ミスや建方後の追加工事で現場での溶接作業
- ⑤ AIJ「鋼構造許容応力度設計規準」隅肉溶接のサイズ
- ⑥ 突合せ溶接 (開先角度 35°) のルート間隔
- ⑦ 緩み止め機能付きボルトの使用について
- ⑧ 角度のある隅肉溶接の場合

- ⑨ 梁端フランジを拡幅した場合の溶接法
- ⑩ アンカーボルトセット位置の精度
- ⑪ スタッド溶接部のアンダーカット許容差について
- ⑫ レーザー孔あけについて
- ⑬ 胴縁ピース溶接について
- ⑭ 階段を受ける GPL の板厚について
- ⑮ 溶融亜鉛めっき膜厚が出なかった場合の責任
- ⑯ 数量が少ない工場打ちスタッドジベル

3. 意見交換会 (懇親会)

会場: 未定

会費: 会費3000円、当日、現地にて徴収します。